



愛知淑徳大学コミュニティ・コラボレーションセンター

地域に根ざし、世界に開く

コラボ通信

第13号
2008年3月1日

インターンシップ報告会特集

2007年12月21日(金)に長久手キャンパスで、インターンシップ報告会と交流会が開催されました。第1部では、夏期インターンシップを体験した学生9名による報告会が行われ、第2部の交流会では、15名の学生によるポスターセッションが開催されました。2007年夏期は、115機関、207名の学生がインターンシップに参加しました。



第1部 報告会



コミュニケーション学部3年 金井 綾美さん

私は上がり症なので、予想以上の企業の方に驚きました。しかし、発表を見てくださった側からは、緊張していることが伝わらなかったようで、自分の新たな強みを発見する機会になりました。



体験報告発表者(発表順)

- | | | |
|---------------------------|-------|---------------|
| ●株式会社壱番屋 | 山田 貴士 | ビジネス学部3年 |
| ●近畿日本ツーリスト株式会社 | 橋本 敦美 | 現代社会学部3年 |
| ●ヒルトン名古屋 | 金井 綾美 | コミュニケーション学部3年 |
| ●株式会社インターネットイニシアティブ | 荒竹 拓 | コミュニケーション学部3年 |
| | 田上 啓介 | ビジネス学部3年 |
| | 柴田あゆみ | 文化創造学部3年 |
| ●IAVE アジア太平洋地域ボランティア会議事務局 | | |
| | 中島 亜美 | 文化創造学部3年 |
| | 浜田 真弓 | 文化創造学部3年 |
| ●株式会社三晃社 | 茂森 紗織 | 現代社会学部3年 |



インターンシップ報告会に参加して、インターンシップとは企業と私達が対等の立場で向き合える機会だと思いました。

発表者の方々の業種は全く違いますが、一人ひとりが自分の目標や目的を学生の視点で考えて取り組んでいくことの素晴らしさを学びました。

私も今年の3月にインターンシップに参加させていただきます。今回の報告会を参考にさせていただきながら、自分自身の目標や目的を達成して、自分の成長に繋がりたいと思いました。



医療福祉
学部2年
熊崎 完さん

学生の積極的な活動が大変印象的でした。

受け入れ側も十分な準備を行っているようで、両者にメリットの多い事業となっていると実感しました。ただ、インターンシップのためのプログラムの感も否めず、ややリアリティに欠けた部分も感じました。

インターンシップ受け入れ先である
愛・地球博ボランティアセンターの方のお話



引き続き...

第2部 交流会

ポスターセッション開催



参加者が自由に意見交換できるティーパーティー形式の交流会には、141名が参加しました。学生16名による13機関のポスターセッションがあり、各自が制作したポスターの前で、インターンシップ研修の報告を行ない、各研修機関からの参加者と学生とのフリートーキングや教職員との交流の場になりました。

ポスターセッション発表者(50音順)

- | | | |
|-------------------------|--------|----------------|
| ●赤門ウイントン株式会社 | 竹内 夏美 | 文化創造学部 3年 |
| ●安藤証券株式会社 | 佐竹 由紀 | ビジネス学部 3年 |
| ●株式会社オフィスパーク | 坂下 由香 | ビジネス学部 3年 |
| ●株式会社ジェイアール東海ホテルズ | | |
| | 前野 遥香 | コミュニケーション学部 3年 |
| ●第一生命保険相互会社 | 葛西 公美子 | 文化創造学部 3年 |
| ●株式会社名古屋東急ホテル | 幸村 遥 | コミュニケーション学部 3年 |
| | 山本 紗織 | コミュニケーション学部 3年 |
| ●有限会社日本語教育新聞社 | 田中 愛美 | コミュニケーション学部 3年 |
| ●日本情報通信企画株式会社 | 中島 綾乃 | コミュニケーション学部 3年 |
| ●ネットヨタ愛知株式会社 | 川井 美咲 | 医療福祉学部 3年 |
| ●ネットヨタ東名古屋株式会社 | | |
| | 上田 香織 | コミュニケーション学部 3年 |
| | 古久根 瞳 | 文化創造学部 3年 |
| ●ピープルスタッフ株式会社 | 花井 志帆 | 文化創造学部 3年 |
| ●マスプロ電工株式会社 | 関 朱理 | コミュニケーション学部 3年 |
| ●三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 | | |
| | 田烏 武 | ビジネス学部 3年 |

交流会で、インターンシップでお世話になった方もいらして、私の事を覚えてくださりとても嬉しく思いました。私はポスターを作らなかったのですが、友達のポスターを見て「こんな素晴らしい作品を社員に見習わせたい。」とお褒めの言葉をいただきました。

文化創造学部 3年
熊谷 奈々さん

ポスターセッションに参加された
第一生命保険相互会社の方のお話

ポスター（模造紙）という限られた表現方法の中で、非常に内容がまとまっていて良かったと思います。

時間の制約があったとは思いますが、全員の方から一言ずつ発表がいただければ、なお良かったと思います。

インターンシップでの経験を振り返り、研修の意義や自分自身について深く考えたいと思い、交流会に参加しました。

交流会では企業の方々が発表について質問して下さり、自分の経験について以前とは違った視点で物事を考えることが出来ました。インターンシップを行うだけでなく、その経験を振り返る事がとても大切だと感じました。

コミュニケーション学部 3年
田中 愛美さん



番外編

～インターンシップ報告会を終えて～

ばっちゃんトーク



体験報告及びポスターセッションで発表を行った学生に、インターンシップ報告会を振り返っていただきました。今だからこそ、感じることやそれぞれの思いが詰まった本音トークは必読です!!

Q1 インターンシップ報告会はあなたにとっていい機会でしたか？ A1 YES 100 %

- ・皆の発表を聞いて勉強になった。自分とは違う企業に行った子達とも交流ができて、たくさん情報共有できた。
- ・夏にお世話になった企業の方に再会できたことと、他の企業の方とお話できたから。
- ・みんなで協力して会を作り上げることが出来て楽しかった。
- ・様々な企業の方とお話しする機会があった。



Q2 報告会の準備で苦労したことはありますか？

- ・パワーポイントの使い方がわからなかったため、パネル作りはとても大変だった。けれども、今はかなり使いこなせるようになった!!
- ・2週間分の研修内容を発表時間内の5分にまとめるのに少し苦労した。決められた時間内で何を一番強く主張するのか、上手く伝わるのか勉強になった。
- ・ポスター作り。時間が足らなかった。



Q3 報告会やポスターセッションの際に、工夫すればよかったことはありますか？

- ・パワーポイントをもっと使いこなせればよかった。
- ・もう少し丁寧に作ればよかった。
- ・笑顔で話せればよかった。
- ・目立つポスターを作成できればよかった。
- ・「報告会の報告」企画が実現できたらよかった。
- ・自分からもっと企業の方に話しかければよかった。

Q4 逆に、工夫した点はありますか？

- ・楽しそうに笑顔で話すこと。
- ・パワーポイントが使えないことを逆手に取って、手作り感を高め、自分に正直なポスター作りをしたこと。
- ・見ていただく方の事を考慮して、シンプルに文章を短く作ったこと。
- ・話す速度、声の抑揚と会場全体を見て話すようにしたこと。
- ・司会を行ったので、緊張をバネにして笑顔で務めようと心がけた。

Q5 報告会やポスターセッションの中で、印象的なエピソードはありますか？

- ・「今回のように成果を形にしてくれると非常に嬉しいし、大変参考になる。」と企業の方が話してくださったこと。
- ・ソフト制作会社との話の中で、理系だから文系の方があまり近寄ってくれないが営業は接客なので文系の人でも志望して欲しいと言っていたこと。
- ・「パワーポイントで完璧な発表よりも、温かみのあるポスターの方が直に思いが伝わってきていいね。」と受入先の方が言ってくださったこと。
- ・最初作ったパワーポイントが小林先生に手伝ってもらってだんだんよくなったこと。



- ・発表中、一瞬頭が真っ白になり、目が合った企業の方が笑顔で頷いて下さり我に帰った。人の前に立つとき、決して自分の力だけでそこに居るのではないのだと強く感じた。
- ・報告会で質問コーナーの際に、誰も質問者がいなかったので台本通りに次に進もうと思ったら、手を上げている人を発見して焦った!!